

茨城県議会議員

西條昌良

県議会報告

●事務所●神栖市土合北2-11-13
●TEL●0479(48)0073
●HP●<http://www.saijomasayoshi.com/>



県民と明日を築く県議会！

第101代県議会議長に就任致しました

【ごあいさつ】

歴史と伝統ある茨城県議会・第101代議長に就任させていただいたことは身に余る光栄であり、関係各位に対し心より感謝申し上げますとともに、改めてその責任の重大さを痛感しております。

茨城県議会開設130年・100代にわたる諸先輩の築かれた議会の伝統を踏まえ、議会運営のさらなる充実強化に努めるとともに、県勢発展に寄与することが出来れば幸いです。

私は、議長になることが目的ではなく、議長になることによって茨城県、強いては地元神栖市の発展に貢献することが使命だと思っています。「県民と明日を築く県議会」をモットーに、県民の負託に応えるべく、茨城県政と神栖市政発展のために全力で取り組み、安心・安全な住みやすい郷土づくりに努力して行く所存でございます。

今後も皆様のご協力とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

「驕（おご）らず、恐れず、迷わず」の信念を持って5期20年、県政に情熱を注ぎ、その行動力を発揮してきた西條昌良県議。平成21年12月9日の茨城県議会第4回定例会の最終日に第101代県議会議長に選出された西條昌良氏は「県民と明日（あした）を築く県議会」のスローガンと共に、景気・雇用対策、財政改革、安心・安全を強く訴えました。

折しも、明治12年の茨城県議会開設130年目

の記念すべき年にあたり、鹿島南部地区からは小堀亀太郎氏（明治32年）、倉川五郎氏（昭和34年）に続いて3人目の議長就任。（旧）波崎・神栖からは、初めての県議会議長となりました。

今年1月16日には西條県議を支援する女性グループによる「プチトマトの会」がアトンプレスホテルで開かれ、岡田広参議院議員も激励に訪れました。

おご 驕らず、恐れず、迷わず！

神栖市から初の議長就任

景気・雇用対策、財政改革に全力



●西條昌良議長

昨年、私は55才の節目を迎えて、滋賀県の先祖の墓を訪ね、みずからのルーツと役割を再確認しました。

私の先祖は、大津市真野普門（現在の滋賀県大津市真野普門町）の出身です。本家は59代続く家柄です。

大津市真野普門の西條與惣左エ門の6男である芳蔵が、鹿島郡矢田部植松（現在の神栖市矢田部）に居を構えたのが江戸時代天保年間です。芳蔵から與助（2代）、與三郎（3代）、俊次（4代）へと続き、私がこちらでは5代目になります。昭和47年には私たち子孫を訪ねて、滋賀県大津市真野普門の本家から西條與門（大禪）氏が訪れて、祖父與三郎、父俊次などが対面した経過があります。

琵琶湖大橋を見渡す大津市真野普門の小高い丘には、西條家の先祖代々の墓が建てられ、比叡山延暦寺の焼き討ちなど、長い歴史の重みを感じました。

101代議長に就任した平成21年は自分にとって大きな節目の年でしたが、与えられた立場で全力を尽くすことを先祖に誓いました。

県境連携、医療連携

第1は景気対策です。これは国の政策ですが、県としても緊急景気対策に精一杯取り組んでいかなければなりません。保健・医療・福祉・環境・教育も待ったなしの課題です。

第2は行財政改革。私は3月まで出資団体等特別委員会の委員長をやっていた。茨城県の財政状況は、1兆8千億の県債を抱え、隠れ借金や将来負担を入れると2兆円にもなります。今、きちんと財政改革をして財政再建の道筋を立てなければ、茨城県の将来はありません。早期健全化団体に転落する危険性すらあるのです。1日も早く、財政改革の道筋をつけていきたい。

第3は県境の協力・協調体制の確立です。私は茨城・千葉・埼玉の3県議長会を提案しました。現在も実施しています。県境でいかに協力体制がとれるか。特に医療連携は大切です。

茨城県は47都道府県の中で、10万人あたりドクター数が46番目。下から2番目です。中

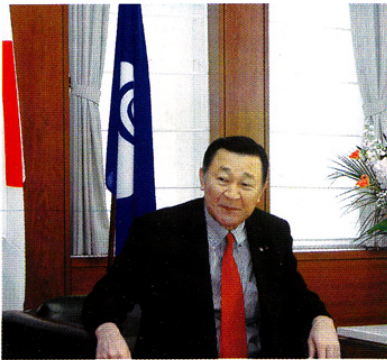
でも鹿行と県北は医療過疎が深刻です。神栖市から旭中央病院に救急搬送されることも多く、銚子市との医療連携も大切です。鹿島労災病院、神栖済生会病院、白十字病院を充実させて、しっかりと開業医との連携をとることが大切だと思っています。

道路では、銚子大橋新橋が平成23年3月に完成します。東関東自動車道は、潮来から16キロは用地買収に入り、銚子までの30キロは計画路線に格上げになり、測量代金1億円の調査費が付きましました。3月には茨城空港が完成しましたので、成田空港との連携のために東関東のさらなる整備が必要です。



プチトマトの会

県政と県民が近い関係を築こう 情報開示、きちんと議論をして



県議会議長室にて

私のキャッチフレーズは「県民と明日（あした）を築く県議会」。情報をきちんと公開し、県議会の議論を通して、もっと情報を開示していきたいと思っています。県民の理解の上で、きびしい財政状況を乗り切っていきたいという決意を込めました。

土木研究所跡地の 開発と海岸保全

昨年11月の神栖市長選で保立一男市長が再選されましたが、保立市長の最大の公約は土木研究所跡地の活用です。

防災公園を整備し、アリーナを建設する計画です。保立市政の4年間の最大のテーマであり、県として支援できるところをしっかりと要請していきたい。神栖市への警察署誘致もきちんと要望していきたい。旧波崎町と旧神栖町の格差の是正も課題です。国民宿舎「砂丘荘」跡地の活用、火葬場の建設、上下水道をきちんと整備し直して、インフラ格差の是正を図る。県としてどんな支援ができるのか考えていきたいと思っています。

環境問題で一番頭を痛めているのが、波崎の海岸保全です。海岸の松林が松くい虫や塩害で枯れ、日本の三大砂丘の一つと言われる波崎の砂丘が見る影もなくなっています。県も松くい虫や塩害の状況を調査し、砂防対策、植栽計画などを考えています。

県と地元神栖市が協力して、神栖市の自然をもう一度見直し、再生することが大きなテーマだと思います。

地方空港に対する批判は強いものがありますが、今年3月に開港しました茨城空港は、何としても県民あげて成功させなければならない空港です。

議長就政策提言機能の充実を 任挨摺

県政の様々な課題を解決するため、地方が丸となって真の地方分権改革を目指す節目の時代にあつて、議会の役割と責任は、従前に比較して格段に重くなっています。

11月に地方分権改革推進委員会から第4次の最終勧告が提出されました。勧告では、分権型社会にふさわしい「地方府」に自治財政権の確立、とりわけ地方税財源の充実確保が不可欠であり、地域間の財政力格差を是正するための取り組みが重要であると

ともに、財政規律の確保のため、地方議会のチェック機能や監査委員の機能充実、外部監査機能の積極的な活用を図ることが肝要と述べられています。

県議会としては、300万県民の負託にこたえ、地方自治における二元代表制の一翼を担う責任のもとに、県行政を適切に監視する機能に加え、議会独自の観点に立って建設的な議論が展開できるよう、政策提言機能の充実を図ってまいります。

こうした諸課題の解決や改

善に真摯に取り組む一方、厳しい財政状況の中ではあるが、次世代のために、県勢を継続して発展させていくことも不可欠です。そのために、これまで築き上げてきた陸・海・空のネットワークを更に充実し、その利便性を十二分に享受できる地域づくり、すなわち、誰もが安心して住みやすい茨城づくりを目指していきます。

そこで私は、「県民と明日（あした）を築く県議会」をモットーに、議員諸兄の情熱と叡知（えいち）を集結し、県民の負託に応えるべく、全力をつくしていきます。



神栖市の賀詞交換会で、
ビジョンを語る西條議長

【議長就任に贈られた冠詩】

昌良

(しょうりょう)

平成二十二年四月十八日

冠詩 七言絶句

西湖大津祖先来

(せいこ おおつより そせんきたる)

條達謙遜王道歩

(じょうたつ けんそん おうどうあゆむ)

昌運鎬鎬議長席

(しょうん こうこう ぎちようにつく)

良妻健康男子富

(りょうさい けんこうは だんしをとます)

幡谷祐一詩

西湖 関西では琵琶湖を俗に西湖と言っています。

條達 伸びつうじる。四方に伸びる。

謙遜 へりくだって高ぶらない。

昌運 さかなる運命。物事の栄えるとき。

鎬鎬 光り輝くさま

【西條昌良議長の歩み】

○昭和29年11月14日 (旧) 鹿島郡波崎町 (現・神栖市) 生まれ、現在55歳

○波崎町立波崎矢田部小学校、波崎町立波崎第二中学校、

○銚子市立銚子高等学校、大東文化大学経済学部経済学科卒

○昭和52年 大学卒業後、岩上妙子、岩上二郎参議院議員秘書を経て、

○平成 2年 茨城県議会議員初当選

○平成 6年 茨城県議会 環境商工委員会 副委員長

○平成 7年 自由民主党茨城県支部連合会 青年局長 (平成10年3月まで)

○平成 8年 茨城県議会 農林水産委員会 副委員長

○平成10年 茨城県議会 農林水産委員会 委員長

○平成11年 茨城県議会 土木委員会 委員長

○平成13年 茨城県議会 議会運営委員会 副委員長

○平成14年 茨城県議会 決算特別委員会 副委員長

○平成15年 茨城県議会 総務企画委員会 委員長

○平成16年 茨城県 監査委員

○平成17年 茨城県議会 副議長

○平成18年 茨城県議会 予算決算特別委員会 委員長

○平成19年 茨城県議会 財政再建等特別委員会 副委員長

○平成20年 茨城県議会 情報委員会 委員長

○平成21年 茨城県議会 県出資団体等調査特別委員会 委員長

現在

○茨城県介護政治連盟 会長

○茨城県空手道連盟 県東地区協議会会長

○社会福祉法人マリンピア 理事長

○医療法人積仁会島田総合病院 理事

○母・夫人・一男の4人家族